



5年生山の学習その2 キャンプファイヤー 落ち葉スキー

山の学習で、みんなが大いに盛り上がり、思い出に残った活動と言えば、キャンプファイヤーを挙げる子がたくさんいるに違いありません。今年度も「おやじの会」の力を借りて、カヌーの補助に引き続き、キャンプファイヤーになくてはならない井桁を作っていました。



すでに、10年以上もおやじの会の一員として井桁づくりを協力してくださっている方だけでなく、新たなメンバーも加わり、皆さんと協力しながら手際よく隅々まで形にこだわって素敵な井桁を完成させました。

日が西へ傾いて、あたりが暗くなりはじめたころになると、子供たちは太陽の広場に静かに集まりました。そして「遠き山に日は落ちて」の歌とハミングの中、火の神（営火長）が



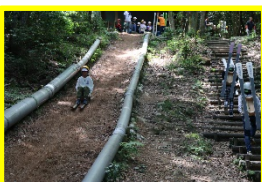
登場し、井桁に火が灯されると、セレモニアルファイヤーの始まりです。エールマスターと子供たちの熱気に満ち溢れた「燃えろよ燃えろ」の歌声とともに火は徐々に大きくなり、楽しいボンファイヤーの場へと変わっていきました。

今年度の5年生は5つの班で構成されており、歌いながらみんなを巻き込んで一緒に踊ったり、ゲームで楽しんだり、ちょっと怖いお話をしたりと、趣向を凝らした様々な出し物が見られ、大いに盛り上がることができました。やがて、火が徐々に小さくなり、再び厳粛なセレモニアルファイヤーへ。火の神から代表の子たちに分火された火によって火文字に点火されると、だんだんと「バーニング」と縄で作られた炎の文字が浮かびあがってきました。これは、山の学習で5年生が掲げ



たスローガンであり、**炎のようにみんなで熱く燃え上がろう**という思いが込められています。キャンプファイヤーで子供たちを明るく照らし、勢いよく燃え盛っていた炎もやがて消えてしまいますが、この良き日の感動や素敵な思い出は、心に炎を灯してずっと燃え続けることでしょう。

2日目は、ロッジの清掃や奉仕活動の実施です。「来た時よりも美しく」「後から使う学校が気持ちよく使えるように」と、少年自然の家の使った場所を、みんなで協力して一生懸命にきれいにする姿がありました。きっと心もきれいに磨くことができたと思います。



最後の活動は、落ち葉スキーとアスレチック。今回は天気にも恵まれていたので、落ち葉スキーでは、ウサギコース、イノシシコースともに行うことができました。安心、安全を最優先にし、けがなくみんな笑顔で楽しむことができたのでとてもよかったです。



山の学習は、これまでの取組や当日の活動も含め、スローガン「バーニング」を実現した最高に燃え上がった行事でした。5年生の皆さん、仲間と助け合い、笑顔いっぱいの活動ができてよかったです。そして、様々なサポートや準備をしてくださった保護者の方々や、おやじの会、少年自然の家の皆様、本当にありがとうございました。